

# 強者の戦略

2026年度 京大地理 第2問〔問題編〕

今回は2026年度の京大の第2問を解説したいと思います。気候と衣服に関する問題で、結構ありふれたテーマでありながら、やや思考能力を問う質の高さも感じられる問題です。なめてかかると高得点を逃す可能性もありますよ。ぜひチャレンジしてみてください。

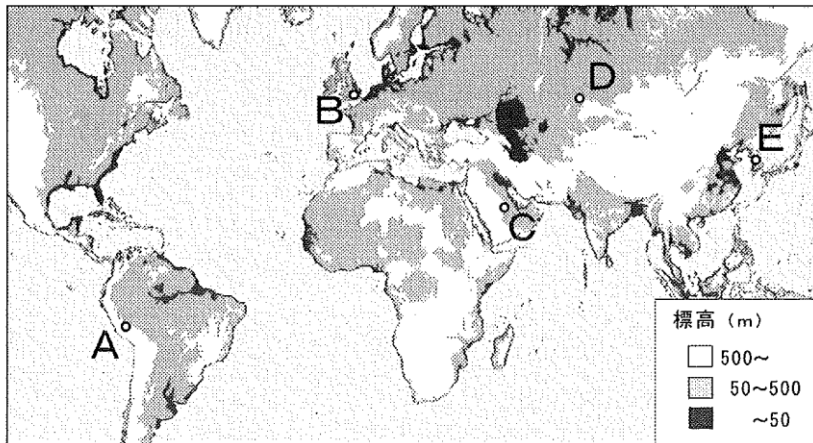
## Ⅱ 地理探究問題

下の雨温図ア～オは、地図の都市A～Eのいずれかのものである。それぞれの都市を含む地域における気候と衣服に関する問(1)～(6)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

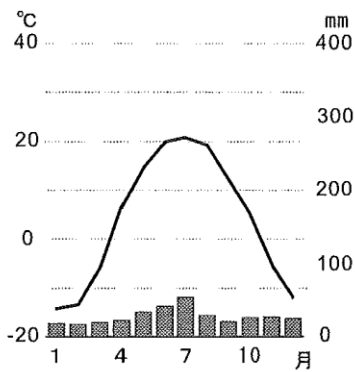
問

- (1) 都市Dと都市Eの雨温図をア～オから選んで、都市Dは解答欄①に、都市Eは解答欄②に、それぞれ記号で答えよ。
- (2) 古代文明の都として知られる都市Aでは、獣毛で織られた丈60cm、幅150cmほどの布を頭からかぶっている男性を見かける。この衣服は何と呼ばれるか、解答欄①に答えよ。また、この地域の気温は特徴的な年変化を示すが、その特徴と要因を、解答欄②に30字以内で述べよ。
- (3) 都市Bでは、小雨や霧が発生することが多いため、防水性のコートがひろく用いられる。霧のよく発生する季節を春・夏・秋・冬から1つ選び、解答欄①に答えよ。また、霧が発生させる自然的な要因を、解答欄②に40字以内で述べよ。
- (4) 都市Cで着用される、身体を隠すゆったりとした衣服は、宗教的な慣習を反映したものであると同時に、この地域の気候に適したものでもある。この衣服に影響する気候の特徴について、30字以内で述べよ。
- (5) 都市Dが属する地域の民族衣装は、皮革や毛皮がよく用いられ、乗馬に適した特徴をもつ。この地域で行われてきた生業を、解答欄①に答えよ。また、この生業が気候や植生とどのような結びつきをもつかについて、解答欄②に40字以内で述べよ。
- (6) 都市Eが位置する地域の女性が伝統的に着用してきた、丈の短い上着と丈の長いスカートからなる衣服の名称を、解答欄①に答えよ。この衣服はこの地域で用いられてきた暖房施設に適するとされるが、この設備の名称を解答欄②に答えよ。

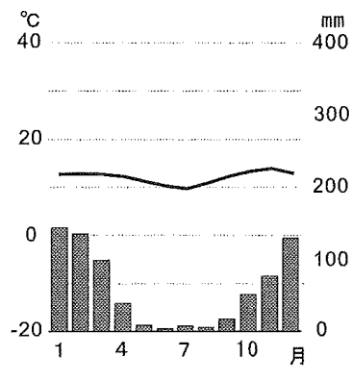
# 強者の戦略



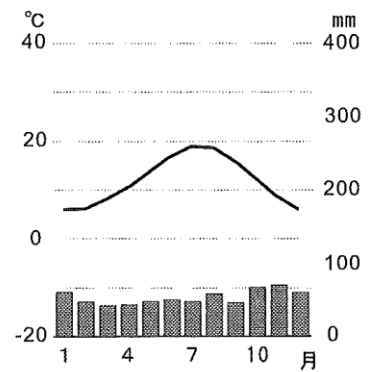
資料：地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>)



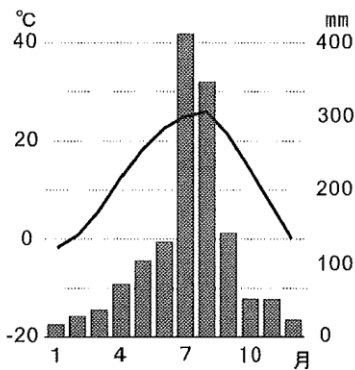
ア



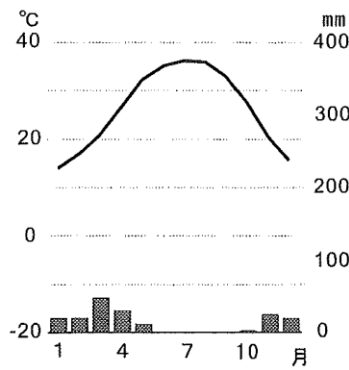
イ



ウ



エ



オ

資料：世界の天候データツール (<https://data.jma.go.jp/cpd/monitor/>)

注：折れ線は気温(左軸), 棒グラフは降水量(右軸)

# 強者の戦略

2026 年度 京大地理 第 2 問 [解答解説編]

## 【解答】

- (1) ① **ア** ② **エ**
- (2) ① ポンチョ ② 低緯度の高山地域に位置し、年中温暖で年較差が小さい。(26 字)
- (3) ① 冬 ② 西部海域から吹く偏西風が水蒸気をもたらし、冬の地面により冷やされ霧が発生する。(39 字)
- (4) 砂漠気候下で年中高温乾燥かつ日差しが強く、砂嵐も発生する。(29 字)
- (5) ① 遊牧 ② 乾燥気候により、少ない水と草を求めて家畜を定期的に移動し牧畜を行う形態をとる。(39 字)
- (6) ① チマ・チョゴリ ② オンドル

## 【解説】

- (1) **D**はユーラシア大陸の内陸に位置しているため、気温の年較差が大きくなります。また隔海度が大きく降水量も少なくなります。緯度もイギリスのロンドンと同じ北緯 50 度付近で寒冷であるとも考えられます。よって、年較差大、降水量少ない、気温低いという 3 条件を兼ね合わせている雨温図を探せば、**ア**に該当します。**E**は東アジアのモンスーン地帯に位置しているため、夏季は多雨、冬季は少雨になります。この傾向が顕著に表れている雨温図は**エ**となります。せっかくですから他の雨温図の判定も行っておきましょう。**A**は南半球に位置しているため、1 月が夏季で気温が高く、7 月が冬季で気温が低くなります。この傾向を示しているのは**イ**になります。**A**の位置している地域の標高を資料の色合いから判定すると、白く描かれている 500m 以上に該当します。赤道に近く高度が高いため年中春っぽい気候で一定する常春気候と考えられます。**イ**の雨温図では 10 度～15 度くらいの気温で一定していることを確認できます(後ほど、常春気候がまた登場します)。**B**はイギリスのロンドンであると思われ、気温の年較差が小さく、年中降水量が見られる西岸海洋性気候に属します。年中一定した降水量が見られる**ウ**に該当します。残る**C**が**オ**に該当します。砂漠気候に位置しているため、降水量が非常に少ないことが判断基準となります。

# 強者の戦略

(2)①Aは南米のアンデス高地に位置しているの、衣服が聞かれるとするとポンチョが解答なんだろうとは思いますが、「布を頭からかぶっている男性」と言われるとちょっと変な感じがしますね。いつも、つば広帽子をかぶり、ポンチョを着ている左のような男性をイメージしてしまいますから、布をかぶる右の男性が頭に浮かびにくいです。



②南米の高山気候を説明すれば良いので、そんなに難しい問題ではないと思いますが、やはり 30 字の文字設定がきついですね。よく常春気候なんて言われますから、それを説明するのですが、「赤道付近の低緯度で、かつ、高山に位置しているため、一年中 10 度～15 度あたりの春っぽい気温が一定して続き、年較差が小さい特徴を持つ」がしっかり説明した内容になります。これで 63 字ですからね。ここから、文字を絞り、低緯度・高山・年較差はぜひ入れたいところです。

上記のような気候が特徴のアンデス高地ですが、気温の年較差は小さくても日較差は大きくなります。日が昇れば日射が強くなり気温が上がり、日が落ちれば高山に位置するため気温が下がります。この気温変化に柔軟に対応するために、着脱容易な衣服であるポンチョが重宝されています。また、日差しの強さに対抗し、顔や目の中に入る紫外線を防ぐために、つば広帽子をかぶることになります。

(3)この問題は典型的な文系にとってはやや難しいかもしれませんが、私の思う「典型的な文系」は、覚えていて知っていることだから書ける、ことを得意としている文系受験者のことを指しています。この問題においては、まず、なぜ霧が発生するのかを考えなければなりません。この主体的に考える姿勢が大事になります。

京大の過去の類題をひもとけば、1997 年の問題に行き当たります。

北海道東端部の釧路・根室地方は、夏季に海霧におおわれることが多く、稲作に適さない。海霧がなぜ発生し、なぜこの地方をおおうのかを、40 字以内で説明せよ。

この問題を解くために必要なポイントは、夏季に南東モンスーンが吹いてくこと、そして、北海道の東側には千島海流という寒流が流れていること、の 2 点です。暖流である日本海流の上を通り湿潤風となった南東モンスーンが、北海道の東部海域の寒

# 強者の戦略

流で冷やされて水蒸気が水滴と変わり、そのまま北海道東部に流入することで海霧が発生します。移流霧と表現されることもありますね。つまり、霧発生に必要な要件は、「暖かい湿潤風が冷却されること」となります。

前置きが長くなりましたが、霧を発生させる自然的な要因を、上記の問題でもいいですし、今まで生きてきた中で考えて、「暖かい湿潤風が冷却されること」に帰着させることが必要です。そして、都市**B**において、どの季節が霧を「よく」発生させる季節になるのかを考えます。ここからは少し難しいですが、冬が正解になります。夏の方が大量に水蒸気が流入し、霧が発生するんじゃないのか、とも考えることができますが、イギリスの西部海域には日本の千島海流のような冷たい寒流は流れていません。陸地の冷えっぷりによって湿潤風を冷却する必要があります。夏は夜が短いため地面が十分に冷え切りません。逆に、冬は夜が長く、天気の良い日は地面の熱が宇宙へ逃げていく「放射冷却」が強くなり起こります。こうして、冬は冷え込みが厳しく、霧が発生する温度(露点)に達しやすくなります。気候の問題においては結構京大は難しい問題を出題してきますので、ちょっと上のレベルにまで持っていった方が良いでしょう。

(4)都市**C**の辺りはイスラーム圏に位置しているため、「身体を隠すゆったりとした衣服」はチャドルだと分かりますね。イスラーム圏の女性は男性にあまり肌身を見せることは良くないとされており、全身を覆う服装になっているのですが、この衣服は当地の気候に合わせた構造ともなっています。このへんのつながりはあまり出題されてこなかったと思うのでやや新鮮ですよ。さきほどの問題といい、この問題といい、ちょっと思考を要求してくる点にプライドを感じます。さて、気候とのつながりは砂漠気候から考えるしかありません。まず、強い直射日光が想定されます。全身を覆うことでこの強い日射を遮ることができます。あとは砂塵(砂嵐)からも身を守ることができます。砂嵐の際、顔の一部をチャドルの端で覆うことで、砂が口や鼻に入るのを防ぐフィルターの役割を果たします。ゆったりとしている点は、高温乾燥により身体に熱がこもらないように、通気性を上げる効果が考えられます。

でも、細かく考えればもっといろいろな良い点があります。水分の蒸発抑制と体温調節の機能があります。乾燥した環境では、汗がすぐに蒸発してしまい、自覚がないまま脱水症状に陥ることがあります。チャドルの内側には、外気よりも少し湿度の高い、安定した空気(微気候)が作られます。これにより、肌からの急激な水分蒸発を抑えることができます。また、チャドルは筒状に縫い合わされているわけではなく、一枚の大きな布を羽織るスタイルが一般的です。歩く際や風が吹いた際に布がはためくことで、内部の熱くなった空気が逃げ、自然な換気が行われます。本当に素晴らしいですね！

(5)乗馬って書かれるとすぐにモンゴルを思い出してしまうのですが、都市**D**はカザフステップ辺りに位置しています。でも、まあ、水と草を求めて定期的に移動する遊牧生活のことを述べれば大丈夫でしょう。水と草を求めて移動するのは、気候が乾燥していて量が少ないためですね。ただ、「この生業が気候や植生とどのような結びつきをも

# 強者の戦略

つかについて」という聞き方は、やや厄介な感じはします。聞き方に曖昧さがあるため、何を述べると採点者のお眼鏡に叶うのかが分かりづらいなと思います。植生は「草」だけでいいのか、ステップということで短草草原と書いた方がいいのか、など、つまらない悩みを抱く受験生もいたかもしれません。

(6)都市Eが位置している辺りが朝鮮半島であると分かれば、チマ・チョゴリと一瞬で書けるでしょう。そして、京大受験生であれば、朝鮮半島の床暖房システムであるオンドルも書けなければ駄目でしょうね。それぐらい簡単な問題だったと思います。

でもせっかくですので、いろいろと書いておくことにします。チマ・チョゴリとオンドルには、冬の厳しい寒さをしのぐための「座式生活」と「防寒」という共通のキーワードで深い関わりがあります。特に、女性の正装であるチマ・チョゴリの独特なシルエットは、オンドルでの生活様式に非常に適した形をしています。オンドルは床を直接温める暖房システムであるため、生活の基本は床に座る「座式」になります。ゆったりとしたチマ・チョゴリのチマ(スカート)は、胸の高い位置から始まる非常にボリュームのある形をしています。これにより、オンドルの床に座った際、足元をすっぽりと包み込むことができます。また、床から伝わる熱をチマの内部に溜め込み、まるで一人用の「こたつ」のような状態を作ることによって、下半身を冷えから守る機能を持っています。

あと、これは問題と関係ないですが、韓国女性の正しい姿勢に「立て膝をつく」というものがあります。日本では行儀が悪いとされていますが、チマ・チョゴリという衣服においては、立て膝をつくシルエットが一番“映える”ようです。大学生の時に北京師範大学に短期留学をしたことがあり、その宿舎の中に韓国人留学生がいました。宿舎の横にあった日本料理屋「桃屋」に日本人留学生や韓国人留学生らと共によく食べに行っていたのですが、確かに韓国人留学生らは立て膝をついて食べていましたね。当時はその習慣がチマ・チョゴリ由来であることに気づいてはいませんでした。

さらに関係ない話ですが、酷寒の2月のソウルでオンドル付きの旅館に宿泊したこともあるのですが、あまりに外が寒すぎて床に張り付いた生活をしていました。それは床が暖かいこともありますが、古い旅館で窓が完全に閉まらず、外気の流入が耐えがたく、床に張り付いていた、というのが正解です。皆さんも機会があれば、ぜひ一度、安い宿に泊まって人生経験を豊かにしてもらえればと思います。

ここまで読んでいただいた皆さん、お疲れ様でした。次回は恐らく、2026年度の京大第3問の解説でお会いいたしましょう。